

改善計画書

事業者名 (知的障害者総合福祉施設 向陽の里)

(平成26年1月16日作成)

事業者のコメント	<p>今回、第三者評価を通して、施設全体で60の評価項目と真剣に向き合うことで、現存する諸課題の共有化が図られ、その改善に向けて職員一人ひとりに自覚と改善意欲の醸成が図られたことは大変意義深いものであったと思います。特に向陽の里が、長い歴史の中で培ってきた、あらゆる障がい特性に配慮した支援スキルの高さや地域との信頼関係が一定評価されたことは、私たちにとって今後の利用者支援において本当に励みになります。「改善への具体的な取り組み」に関しては、短期間及び中・長期間並びに今後検討すること全てにおいて、常に利用者の人権擁護の観点から、ハード面の計画的な見直し並びに支援スキルの更なる質の向上を目ざすとともに、安全・安心でより快適な生活を送って頂けるよう、全職員で真摯に取り組んで参りたいと思います。</p>
----------	--

	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で ひきあげる	1 重要事項説明書等の資料や契約書の内容は、利用者本人に分かりやすく工夫すること。	入所に関して有するサービスの内容等について、別途資料を作成し、説明についても配慮します。	H26.2.1 ~3.31	H26.2.1	H26.3.31	契約書の中から、利用者本人が知りたい情報をピックアップする。 絵やルビを用いた説明資料を別途作成する。	福祉係
	2 寝具の衛生状態に配慮すること。	寝具の更新を年次的に実施し、快適な睡眠環境を提供します。	H26.2.1 ~3.31	H26.2.1	H26.3.31	1ヶ月間で各寮係長及び被服寝具係により、点検表を作成し、更新が必要な寝具をチェックする。 次年度以降計画的に更新する。	各寮係長 (被服・寝具担当職員)
	3 適温での食事提供を目指した取組みを検討していく。	適温でおいしく食事を摂って頂くことにより、健康で楽しい生活を送って頂きます。	H26.4.1 ~5.31	H26.4.1	H26.5.31	現在の時点で取り組めるべき事柄には着手済みであるが、冷めてしまう場合には、寮に配置している電子レンジの活用を更に推進していく。	総務課長 給食係長 各寮サービス評価委員

中・長期間で ひきつらう	1	地域に向けての専門的な研修の開催について検討する。	地域が必要としている専門分野についてのニーズを掴み、研修実施を計画します。	H26.4.1 ～ H27.10.1	H26.4.1	H27.10.1	H26年度に向陽の里の専門分野（発達障がいに関すること、多感覚セッションに関すること、その他等）の中で地域のニーズに即した内容を検討する。H26年度の年間反省及びヒアリングまでに、H27年度に実施する研修の計画を具体化していく。	福祉課長 福祉係長
	2	施設内での段差解消が図られていない箇所がある。	危険箇所については、随時改善し、高齢な利用者の方にも、安全・安心な生活が送れるよう配慮します。	H26.4.1 ～ H29.3.31	H26.4.1	H29.3.31	日常点検、毎月の安全点検等にて、危険箇所の把握を行う。簡単な修繕や工夫により、すぐに改善できるものは、それぞれの部署で行う。その他、施設整備については、総務課にて計画的にすすめていく。	総務課長 各寮寮長
今後検討すること	1	資格に対する動機づけ及び有資格者の登用への検討を行う。					法人全体としての取組みとして、資格取得に対する勤務配慮などが行われている。向陽の里としては、国家資格だけでなく、サービス管理責任者や相談支援専門員の育成に力をいれている。また、園独自の取組みとしては、発達障がいの支援スキルの向上を大きな柱に考えており、園内研修の充実や外部研修への積極的な参加を行っている。今後も更に職員の人材育成に向けて、継続・発展した取組みを年間事業計画にそって実施していきたい。	事務局 園長